

令和
7
年度版

作文の友 3

～書くこと 大すき～



愛知教育文化振興会
三河教育研究会

3	年		組	名前	
----------	---	--	---	----	--



原稿用紙の使い方・書き直し方

題は二、三マスあける

三行目から

書き出しは一マスあける

ただし「から書き出すときは一マスあけない

話しことば・会話は
行をかえる

話しことば・会話の
二行目は一マス下げる

会話文の次の行か
新しく文が始まる
きは一マス下げる

話の内容が変わるときも一マス下げる

書き直すときの記号

┐		{
行をかえる	とる	つきくわえる
	書きかえる	

一マスあける

さいごのーマスあける

いちばん下の「、」「。」はマスの中に入れる

。と「は
同じマスに
書く

三 人 で に じ の ふ も と を 主 人 で さ が し に 行 く
 お 姉 ち ゃ ん が 聞 き ま し た が 、 わ か り ま せ ん 。
 あ る の か な 。 ど こ か ら 出 て る の か な 。
 に じ て ふ し ぎ だ ね 。 ど う し て い ろ ん な 色 が
 と 、 お 兄 ち ゃ ん が さ け び ま し た 。
 や ん と 遊 ん で い る と 、 「 あ 、 に じ だ ね 。 」
 ず っ と 小 さ い こ ろ に 、 お 兄 ち ゃ ん と お 姉 ち

「 マス あける 」
 「 マス あける 」
 「 マス あける 」

「 としは 同じマスに書く 」

「 でも 」

先生と保護者の皆様へ

- ・教科書との関連を図っています。
 - ・児童が自分の力で文章が書けるようになることを意図して編集しています。
 - ・参考作品は「みかわの子」や地域の読書感想文集に掲載されているものを使っています。
- なお、掲載作品の学校名、地区名については執筆時の名前で表記されています。

令和7年度版 作文の友 3年

編集 「作文の友」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会

〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1

電話 0564-51-4819

印刷 あいち印刷株式会社

※無断で複写・複製することを禁じます。

「わたし」の^{せつ}説明文 を書こう



○中心を明らかにして書きましょう

- ☆書くじゆんじよ
- ① つたえたいことを書き出す。
 - ② 中心を決めて、文章の組み立てを考える。
 - ③ 文章を書く。
 - ④ 文章を読み合う。

自分のことを友だちにもっとよく知ってもらうために、つたえたいことの中心を明らかにして、『わたし』の説明文を書きましょう。

作文の友

～書くこと 大すき～

3



もくじ

- ① 「わたし」の説明文を書こう …… 2
・ 中心を明らかにして書きましょう
- ② 心が動いたことを詩で表そう …… 6
・ 心の動きがつたわるように、言葉を考えて詩を書きましょう
- ③ 道具のひみつをつたえよう …… 13
・ 知りたいことに合った方ほうで調べ、分かったことを整理してレポートにまとめましょう
- ④ 本から発見したことをつたえ合おう …… 18
・ 読書感想文を書きましょう
- ⑤ クラスの思い出作りのために …… 28
・ 考えの理由を明らかにして書きましょう

一 つたえたいことを書き出そう。

クラスの友だちに自分のことをもっと知ってもらうために、自分自身を見つめ直しましょう。

自分について考えたことを書き出しましょう。

- ① すきなことや、とくいなこと。
- ② 苦手なことや、直したいと思っていること。
- ③ がんばっていることや、つづけていること。
- ④ ①、②、③が分かりやすくつたわる出来事。

わたし

二 つたえたいことの中心を決めて、文章の組み立てを考えよう。

書き出したことの中から、自分のどんなところを友だちに知ってほしいのか、つたえたいことの中心を決めましょう。

文章を「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、組み立てメモを作りましょう。

終わり	中	始め
クラスへのよびかけ		つたえたいことの中心

三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

三は後ろの35〜36ページを使いましょう。

四 書いた文章を友だちと読み合おう。

書いた文章を友だちと読み合い、おもしろいと思ったところや気づいたことなどをつたえ合いましょう。



友だちの名前

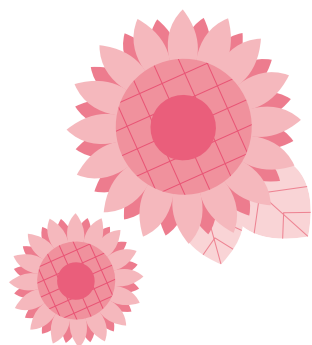
おもしろいと思ったところ・気づいたところ

友だちの名前

おもしろいと思ったところ・気づいたところ

心が動いたことを 詩で表そう

○心の動きがつたわるように、
言葉を考えて詩を書きましょう



みかわの子 作品研究
2018年度版

いつも見なれているものや、聞きなれている音でも、よく見たり、耳をすまして聞いたりしていると、「はっ」と思うことがあります。

詩とは、心に強く感じたことを短
い言葉で表したものです。

あなたの目、耳、鼻、口、手をよ
くはたらかせて、そのときの心の動
きを、どんな言葉で表したらよいか
考えてみましょう。

一 詩を読みましょう。

今日は、なんだ

新城・東陽小

菅沼 大輝

今日は、なんだ

いつも言っている

ぼくがきゆう食のこん立をさぐるとき

いつも言っている言葉

休み時間になると

階^{かい}だんをとんとんと下りる

一階のきゆう食室^{しつ}に近づいて

おいをくんくんくん

あまいような

こうばしいような

いろいろなにおいでさぐりやすい

ちなみに今日の予想^{よそう}は

みそしるとかきあげ

みそのにおいはかく実^{じつ}だ

あまからいようなこのにおいは

ちよっとまようけど

きつとかきあげだ

においでこん立をさぐるのって

わくわくしておもしろい

何だか気分は名たんてい

いよいよきゆう食の時間

今日は、なんだ

ふたを開^あけるまでどきどきする

よし このにおい

ぜったいみそしるにかきあげだ

ん あれれ あれ……

「わあ、おいしそう。」

友だちのうれしそうな声

今日のおかずは 豆^{とう}ふハンバーグ

みそしるは当たっていたけれど……

でも 外れたときほど

当てたいと強く思う

ぼくは きつと明日も

においできゆう食のこん立をさぐっている

今日は、なんだ

(『みかわの子』第54号)

作者が詩で表したかったのは、どんなことでしょう。そのためにどんな言葉を使^{つか}っていますか。気づいたことを友だちと話し合ってみましょう。

二 書くことを決めて、言葉を集めましょう。

学校や家での生活をふり返り、詩に書きたいことをさがしましょう。楽しかったことやうれしかったこと、はっとしたり、おどろいたりしたことなどを書きましょう。

楽しかったこと				
うれしかったこと				
はっとしたこと				
おどろいたこと				

書いたことの中から、とくに強く心にのこっていることに○をつけましょう。

○言葉を集めたメモ

書きたいことが決まったら、言葉を連想して、線でつないでいきましょう。ちがう言葉に言いかえたり、新しく思ううかんだ言葉を使ったりしてもよいですね。

○書きたいこと

心の動きを表すために
言葉をえらびましょう。

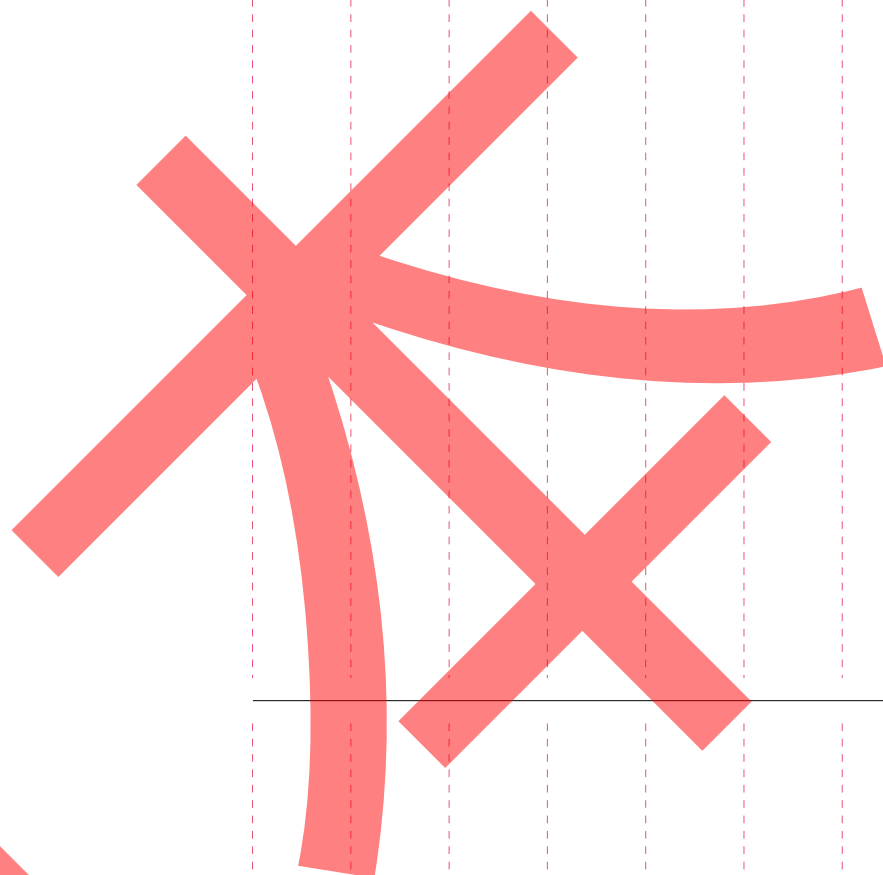
- ・ 色や形
- ・ 動き
- ・ 音
- ・ においやさわった感じ

三 詩を書こう。

思いうかぶ言葉の中から、つたえたいことにぴったりの言葉をえらんで詩を書きましょう。

題名「

」



四 書いた詩を友だちと読み合おう。

友だちと書いた詩を交かんして読み合い、よいと思ったところをつたえ合いましょう。

題名

友だちの
名前

よいと思ったところ

題名

友だちの
名前

よいと思ったところ

道具のひみつを つたえよう

○知りたいことに合った方ほうで調べ、
分かったことを整理してレポートにまとめましょう

- みなさんは、身の回りのくらしの中で、ふしぎだなと思ったことや、もっとくわしく知りたいなと思ったことはありませんか。知りたいと思ったことを調べて、レポートにまとめてみましょう。
- ☆書くじゅんじょ
- ① 調べることを決める。
 - ② 調べる方ほうを考える。
 - ③ 自分の考えた方ほうで調べてメモに書く。
 - ④ 調べて分かったことを整理する。
 - ⑤ つたえたいことがはっきり分かるように組み立てを考える。
 - ⑥ 下書きを書く。
 - ⑦ せい書をする。



一 調べることを決めよう。

身の回りの道具から、調べたいものをえらびましょう。身の回りの道具を書き出し、調べるものを一つ決めて、○をつけましょう。

二 調べたいと思った理由を書こう。

調べるものが決まったら、なぜ調べてみたいと思ったか、理由を書きましょう。

○題（調べること）
.
○調べたいと思った理由
.

三 調べたことを整理しよう。

知りたいことに合った方ほうをえらんで、調べましょう。分かったことをメモに書いておきましょう。

調べて分かったこと
調べた本やウェブページ

調べて分かったこと
調べた本やウェブページ

◎調べる方ほうのれい

- ・かんさつする
調べたいものをよく見たり、さわったりして、分かったことを記録する。写真^{しやしん}をとっていてもよい。
- ・人に聞く
調べたいことについて、くわしく知っている人に聞く。聞きたいことを整理してから聞くとよい。
- ・本やしりようで調べる
調べたいことについて書かれた本を、図書館^{かん}などでさがして読む。
- ・インターネットで調べる
知りたいことについての言葉を、けんさくワードに入力して調べる。



四 レポートの組み立てを考えよう。

内よう	ポイント
題名	短い言葉で分かりやすく書きましょう。
1 調べた理由	「～ので調べてみました。」「～だから調べました。」とつなげると書きやすい。
2 調べ方	かんさつする，人に聞く，本で調べるなど，自分が調べた方ほうをくわしく書きましょう。
3 調べて分かったこと 調べて分かったことには (1)(2)(3)と番号を付ける	・文章だけでなく，図や写真^{ひょう}，表やグラフなどを入れてくふうすると，より分かりやすいレポートになります。 ・目，耳，鼻，口，手などを使ってかんさつしたことを，数字やたとえて表すと，読む人によりよくつたわります。 ・人に聞いたことは，「～だそうです。」「～ということです。」という言葉を使って書きましょう。
4 調べた感想	自分で調べたことについて，思ったことや考えたことを書きましょう。
調べるときに使った本	本の書名は「 」をつけて書き，出版 ^{しゅつぱん} 社名も書きましょう。

五 レポートを書こう。

五は後ろの37～38ページを使いましょう。

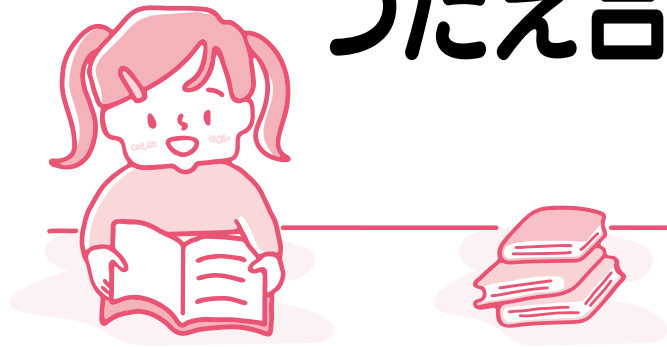
六 感想をつたえ合おう。

書いたレポートを読み合い、よいと思ったところや、自分のレポートにも生かせそうだと
思ったところをつたえ合いましょう。

友だちの 名前	題名	よいと思った ところ	自分のレポートにも 生かせそうだと 思ったところ

友だちの 名前	題名	よいと思った ところ	自分のレポートにも 生かせそうだと 思ったところ

はっ 本から発見したことを つたえ合おう



○読書感想文を書きましょう

- たくさん本の出会い、読書すること
で、ゆたかな気持ちになれます。
- 心にのこる本をえらび、感じたことを
大切にして、文章にまとめてみましょう。
- ☆書くじゆんじよ
- ①本をえらぶ。
 - ②感じたことや思ったことがあるところ
に、ふせんをつけ、読み返す。
 - ・感じたことや思ったことをふせん
に書くときよい。
 - ③いちばん心にのこったところをえら
び、何を中心に書くか決める。
 - ・心にのこった理由を書くときよい。
 - ④書くじゆんじよを考え、感じたこと
や思ったことを組み立てていく。

一 作品^{ひん}に学ぼう。

なにもかもうまくいっていますか？

高浜・高浜小

新美 千穂

① わたしは、最初^{さいしよ}、「お話^{はなし}きかせてクリストフ」という本の題名を見て、どんな話を聞かせてくれるのかとわくわくしました。クリストフという少年とその家族^{そく}が、ルワンダという国からイギリスへ来て、はだの色や育^{そだ}った所^{ところ}のちがいからいじめられてしまう話です。しかしルワンダでの体けんをみんなに話したことで、みんながクリストフのこと

始め

① 本を読む前の気持ちと、どのような話なのかという、かんなんなあらずじから書き出しています。

を分かってくれて、なかよくなることができました。クリストフは、もっとたくさんの人に自分の体けんを知ってもらいたいと思い、本にすることを決意^{けつぎ}しました。だから、わたしたちもクリストフの思いやせんそうについて知ることができました。

中

② 新美さんは、クリストフに起こった出来事^{おこった}について、自分の生活^{かき}と重ね、身近にいる外国^{がいこく}せきの友だちとのことについて書いています。

② わたしには、たくさんの友だちがいます。その中には、お父さんがナイジェリア出身ではだの色がわたしたちとちがう子もいます。わたしたちは二年生の時、同じクラスになりました。わたしは、「いっしょに遊^{あそ}ぼう。」と声をかけました。その日からわたしたちは毎日いっしょに遊ぶようになりました。その

このように、自分の生活と本の中での出来事をくらべたり、にた出来事を書いたりすると、より自分の思ったことや考えたことをつたえることができます。

子はいつもにこにこしていて、わたしが悲しい顔をしていると、

「どうしたの。」

と声をかけてくれ、はげましてくれれます。わたしは、そんなやさしいところや明るくて元気なところが大好きです。はだの色がちがうからいじめるなんて、わたしには全く分かりません。はだの色なんか気にしないで、たくさん遊んだり話したりすれば、なかよくなれるはず。楽しいことばかりだと思います。

③ クリストフは、ルワンダでせんそうにまきこまれて、大けがをしました。弟は死んでしまいました。なぜ、せんそうをするのでしょ

うか。せんそうは、うしなうものばかりです。

③・④

本を読んで心にのこった「せんそう」をキーワードに、自分がどのように感じたのかを書いていきます。本の中の言葉を使って考えを書いているところがよいですね。

悲しい思いしかのこりません。本には、「人間のかちにちがいがないことが分かっていないから。どこの世界にも他の人より上にない」と気がすまない人がいるんだ。」と書いてありました。わたしは、そんな人は自分勝手ですごくずるい人だと思います。どんな人でも、たくさん話をしてみれば、同じ人間で、自分と何も変わらないことがわかるはず。そうすれば、どんな人ともなかよくなれると信じています。

④ 今もどこかの国で、せんそうがおきています。とても悲しいことです。早くせんそうが終わって、みんながなかよくくらせる国になるといいと思います。そして、今、わたしに



日づけ 月 日

題名 _____

作者 _____

一言感想 _____

日づけ 月 日

題名 _____

作者 _____

一言感想 _____

日づけ 月 日

題名 _____

作者 _____

一言感想 _____

○読んだ本を記録しよう
読んだ本の記録をつけ
ましょう。

教科書上100ページから
105ページや下66ページを
さん考にして、本をさが
して読みましょう。



日づけ 月 日

題名 _____

作者 _____

一言感想 _____

日づけ 月 日

題名 _____

作者 _____

一言感想 _____

終わり

⑤ さい後にクリストフのお母さんのせりふを本文からぬき出すことで、自分も本の中の登場人物になったつもりで、これからの世界がどのようになってほしいか書いています。自分にどんなことができるのか、これからどうしたいのかを書くことで、本を読んで強く思ったことや考えたことがよくつたわってきますね。

できることは、友だちを大切にすることです。わたしのまわりでいじめやなか間外れが起きないように、よいところをたくさん見つけて、なかよくしていけるようにしたいです。

⑤ クリストフのお母さんが

「何もかもうまくいっていますか。」

と聞く場面があります。世界中の子どもたちが、

「はい。うまくいっています。何もかもね。」

と、答えられる日が来るといいなと思います。

(平成二十七年「高浜市内 読書感想文コンクール作品集」)

著者 ニキ・コーンウェル
訳者 渋谷 弘子
書名 「お話かせてクリストフ」
発行所 文研ブックランド

感想をメモにまとめよう。

書名		作者名		出版社名	
(1)	この本をえらんだわけ、この本と出会ったときのこと	(2)	あらすじや本のだいたいの内よう	(3)	心にのこった場面や言葉、はじめて知ったこと
				(4)	自分が思ったこと、考えたこと

三 組み立てメモにしてみよう。
○ 書き出した感想をもとにして

書き出した感想をもとにして、始め、中、終わりの組み立てを考えましょう。

						始め		題名

◎心にのこったところ

☆心にかん^{けい}係のあることが書かれているところ

◎感想 ← ← ←

◎読んだ本の名前

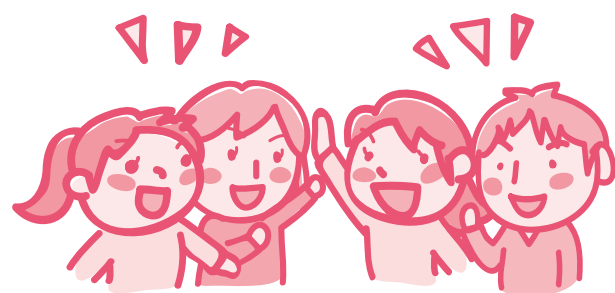
◎本をえらんだ理由

☆本のあらすじ ← ←

◎題名

・本文から学んだことを短い言葉にする
・さい後に考えるとよい

クラスの思い出作りのために



○考えの理由を明らかにして書きましょう

- ① 考えとその理由を明らかにする。
- ② 自分の考えを分かってもらうために
だいじだと思ふ理由をえらんだり書
き足したりする。
- ③ 「始め」や「終わり」に自分の考え
を、「中」にその理由を書く。

クラスの楽しい思い出作りのために、
何をするのがよいか考えてみましょう。
考えとその理由を明らかにして、文
章を書くときには、次のようなところ
に気をつけて書きましょう。

四 組み立てメモをもとに、原こう用紙に書こう。

◎…大事な内よう
☆…あるとよい内よう

終 わ り

中

終わり

◎本を読んで学んだ
こと
☆どのように生かし
ていくのか

中

◎そう思った理由
・同じような体けん
から
・自分だったらと想
ぞう
など
※このまとまりは、
書きたいことに
合わせてふやし
たりけずったり
しましょう

一 自分の考えとその理由を書こう。

何をするか

それをえらんだ理由

クラスの思い出作りのために

The diagram shows a flow from three small boxes at the top to three larger boxes below. Each top box is connected to a bottom box by a line. A large red 'X' is drawn over the entire diagram, indicating it is not to be used.

二 考えを深めよう。

自分の考えを分かってもらうために、理由についてさらにくわしく書き足しましょう。

クラスの思い出作りのために

The diagram shows a flow from a top box labeled '考え' (Thought) with a circle below it, to two columns of boxes labeled '理由①' (Reason 1) and '理由②' (Reason 2). Each column has three boxes. A large red 'X' is drawn over the entire diagram, indicating it is not to be used.

メモの書き方

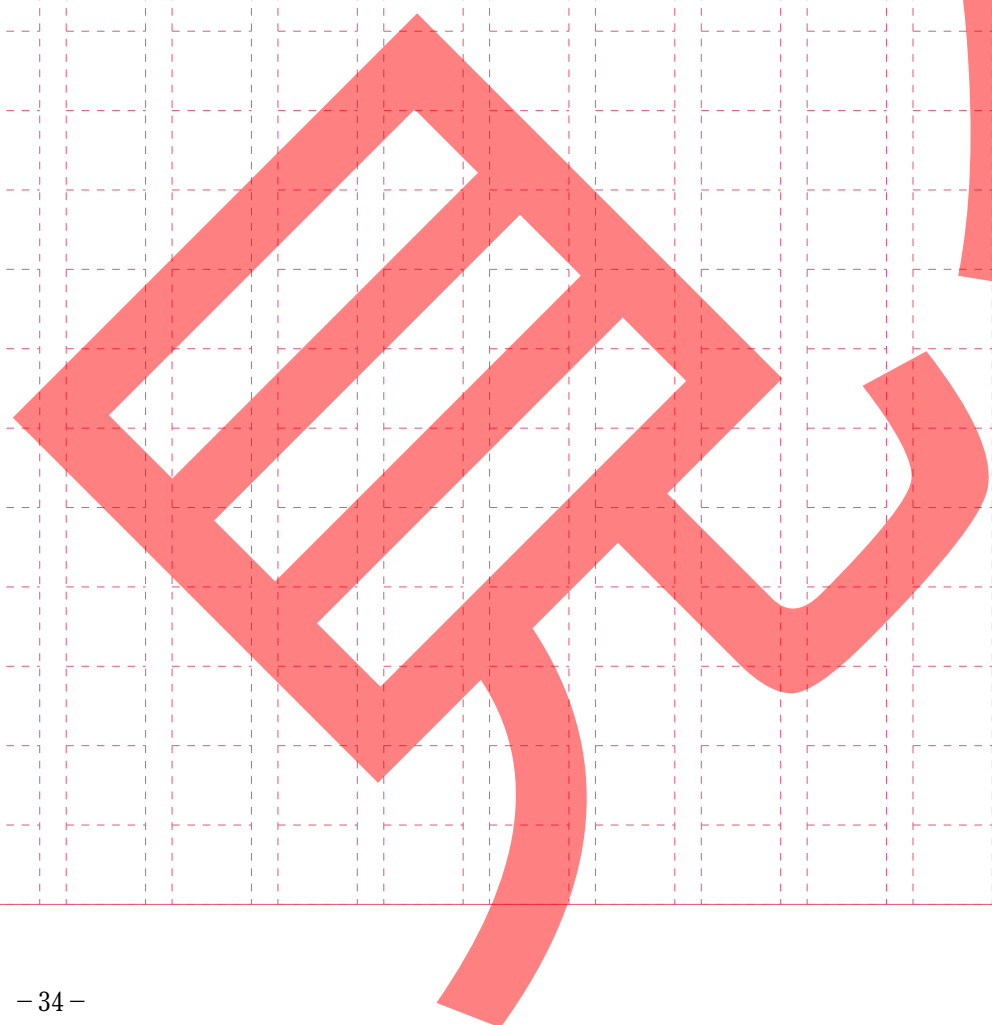
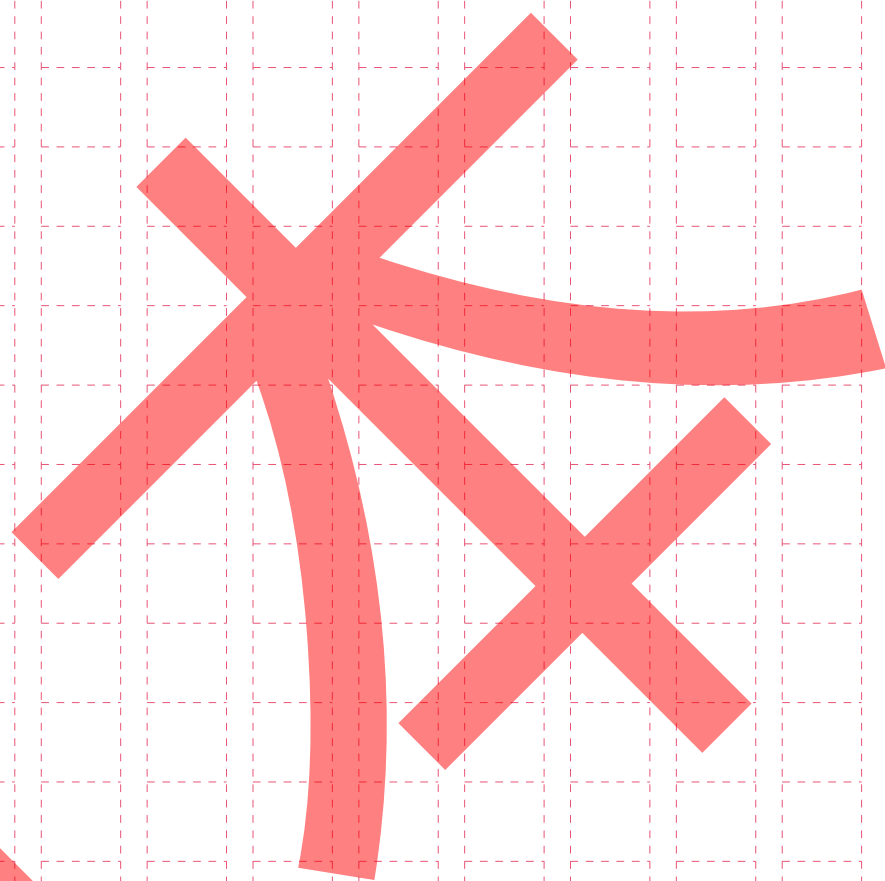
- ①自分の考えとその理由を2つ書き出す。
- ②それぞれの考えの理由をさらにくわしく下の四角に書く。
- ③自分の考えを分かってもらうために、大事だと思う理由をえらんだり書き足したりする。

三 文章の組み立てを考えよう。

30 ページの自分の考えとその理由をどのようにじゅんじょ立てて書くか、自分の考えが読み手につたわるか考えて、組み立てメモを作りましょう。

終わり	中												始め
自分の考え	考えの理由												自分の考え
.							.					.	.

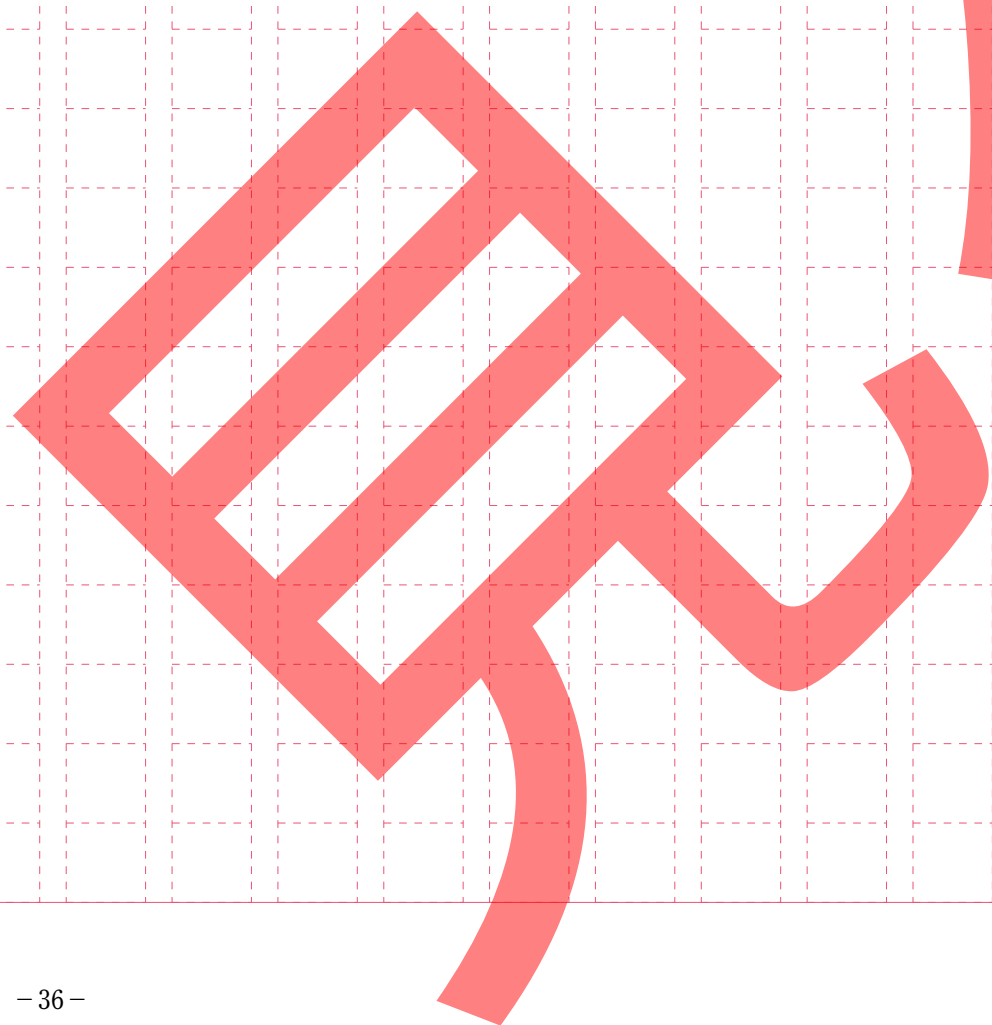
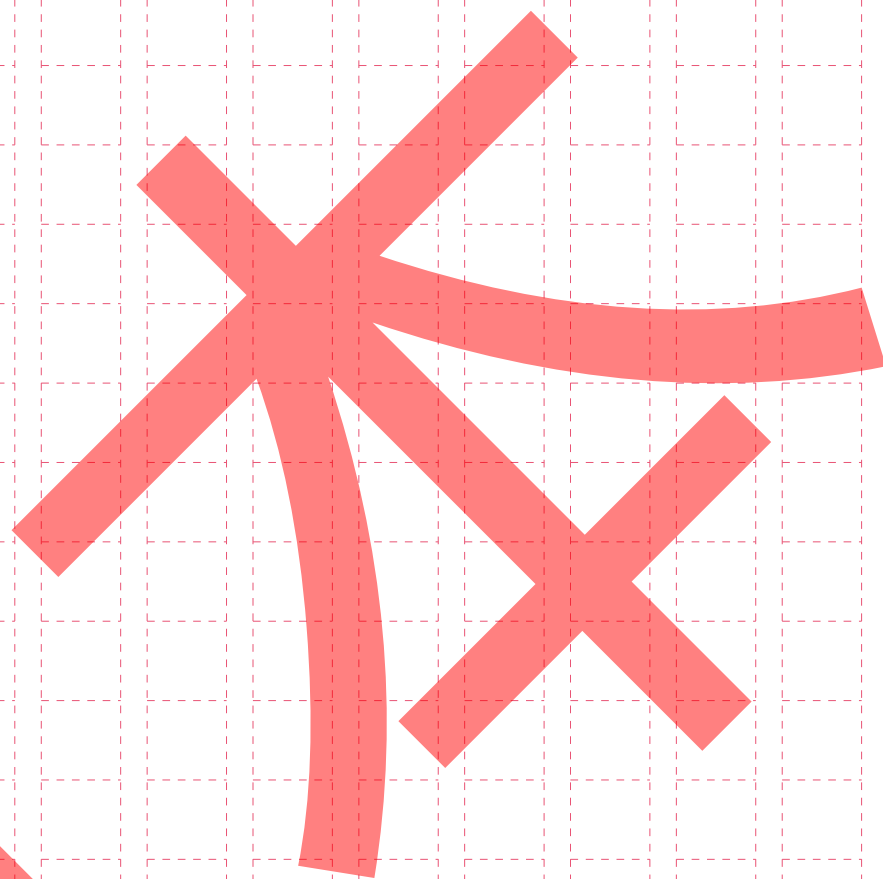
四 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。名前（ ）



三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

わたしの顔

三 年 組



令和
7
年度版

作文の友 3

～書くこと 大すき～

教

指導展開例あり



愛知教育文化振興会
三河教育研究会

3	年		組	名前	
----------	---	--	---	----	--



原稿用紙の使い方・書き直し方

題は二、三マスあける

三行目から

書き出しは一マスあける

ただし「から書き出すときは一マスあけない

話しことば・会話は
行をかえる

話しことば・会話の
二行目は一マス下げる

会話文の次の行か
新しく文が始まる
きは一マス下げる

話の内容が変わるときも一マス下げる

書き直すときの記号

┐		{
行をかえる	とる	書きかえる
つけくわえる		

一マスあける

さいごのーマスあける

いちばん下の「、」「。」はマスの中に入れる

。と「は
同じマスに
書く

に じ の ふ も と

ず っ と 小 さ い こ ろ に、お兄ちゃんとお姉ちゃん

と、お兄ちゃんがさけびました。

「に じ だ。」

あ、

「どこから出てるのかな。」

でも、わかりません。

三人でにじのふもとを主人でさがしに行く

「同じマスに書く」

「一マスあげる」

「一マス」

先生と保護者の皆様へ

- ・教科書との関連を図っています。
 - ・児童が自分の力で文章が書けるようになることを意図して編集しています。
 - ・参考作品は「みかわの子」や地域の読書感想文集に掲載されているものを使っています。
- なお、掲載作品の学校名、地区名については執筆時の名前で表記されています。

令和7年度版 作文の友 3年

編集 「作文の友」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会

〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1

電話 0564-51-4819

印刷 あいち印刷株式会社

※無断で複写・複製することを禁じます。

作文の友

～書くこと 大すき～



もくじ

〈教科書との関連〉

- | | | | | |
|---|-----------------------------|---|--|---|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| <p>上「三年生の本だな」下「本から発見したことをつたえ合おう」</p> <p>・読書感想文を書きましょう</p> <p>・考えの理由を明らかにして書きましょう</p> <p>下「クラスの思い出作りのために」</p> <p>指導展開例あり</p> | <p>本から発見したことをつたえ合おう……18</p> | <p>道具のひみつをつたえよう……13</p> <p>・知りたいことに合った方ほうで調べ、分かったことを整理してレポートにまとめましょう</p> <p>下「道具のひみつをつたえよう」</p> | <p>心が動いたことを詩で表そう……6</p> <p>・心の動きがつたわるように、言葉を考えて詩を書きましょう</p> <p>上「心が動いたことを詩で表そう」「詩を読もう」</p> | <p>「わたし」の説明文を書こう……2</p> <p>・中心を明らかにして書きましょう</p> <p>上「『わたし』の説明文を書こう」</p> |

「わたし」の説明文 を書こう



○中心を明らかにして書きましょう

○目標
○関連

伝えたいことの中心を明らかにして、「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、「『わたし』の説明文」を書くことができる。

自分のことを友だちにもっとよく知ってもらうために、つたえたいことの中心を明らかにして、「『わたし』の説明文」を書きましょう。

☆書くじゆんじよ

- ① つたえたいことを書き出す。
- ② 中心を決めて、文章の組み立てを考える。
- ③ 文章を書く。
- ④ 文章を読み合う。

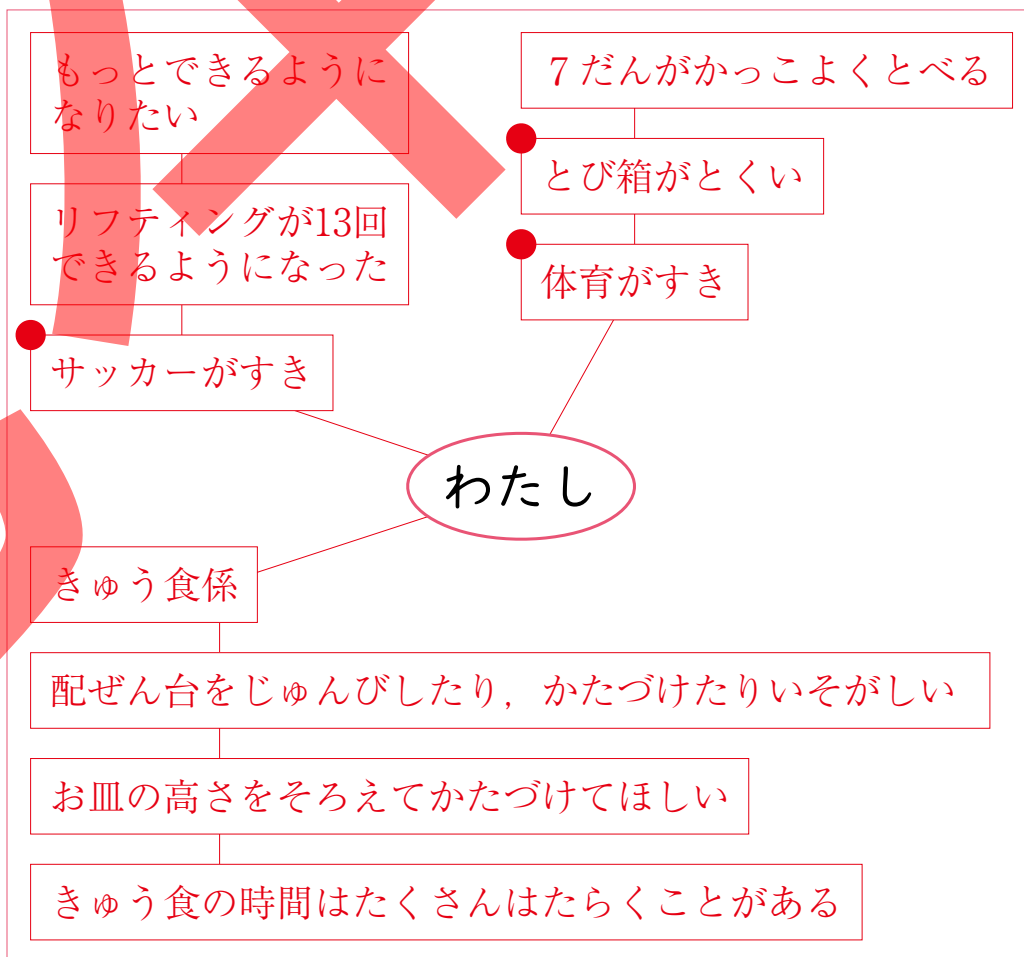
一 つたえたいことを書き出そう。

クラスの友だちに自分のことをもっと知ってもらうために、自分自身を見つめ直しましょう。

自分について考えたことを書き出しましょう。

- ① すきなことや、とくいなこと。
- ② 苦手なことや、直したいと思っていること。
- ③ がんばっていることや、つづけていること。
- ④ ①、②、③が分かりやすくつたわる出来事。

※書き出した中から、伝えたいことの中心を決め、印をつけると分かりやすい。



二 つたえたいことの中心を決めて、文章の組み立てを考えよう。

書き出したことの中から、自分のどんなところを友だちに知ってほしいのか、つたえたいことの中心を決めましょう。

文章を「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、組み立てメモを作りましょう。

終わり	中	始め
クラスへのよびかけ ・いっしょにサッカーをしたり楽しく運動をしたりしよう。	・運動場でする体育で一番とくいなものはサッカー。 ・もっと上手になりたい。 ・体育館でする体育で一番とくいなものはとび箱。 ・二年生のとき、七だんとべた。	つたえたいことの中心 ・体育がとくい。

三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

三は後ろの35〜36ページを使いましょう。

四 書いた文章を友だちと読み合おう。

書いた文章を友だちと読み合い、おもしろいと思ったところや気づいたことなどをつたえ合いましょう。



友だちの名前
おもしろいと思ったところ・気づいたところ

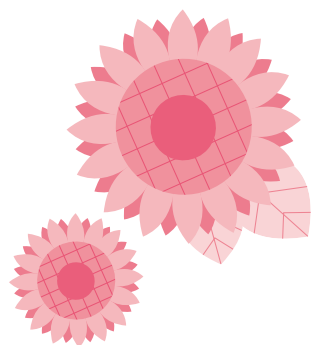
友だちの名前
おもしろいと思ったところ・気づいたところ

○目標
○関連

心が動いたときのことから想像を広げ、言葉を集めたり選んだりして、詩を書くことができる。
上「心が動いたことを詩で表そう」「詩を読もう」

心が動いたことを 詩で表そう

○心の動きがつたわるように、
言葉を考えて詩を書きましょう



みかわの子 作品研究
2018年度版



詩の表現技法
(教師用)

いつも見なれているものや、聞きなれている音でも、よく見たり、耳をすまして聞いたりしていると、「はっ」と思うことがあります。
詩とは、心に強く感じたことを短い言葉で表したものです。
あなたの目、耳、鼻、口、手をよくはたらかせて、そのときの心の動きを、どんな言葉で表したらよいか考えてみましょう。

一 詩を読みましょう。

今日は、なんだ

新城・東陽小

菅沼 大輝

今日は、なんだ

いつも言っている

ぼくがきゆう食のこん立をさぐるとき

いつも言っている言葉

休み時間になると

階^{かい}だんをとんとんと下りる

一階のきゆう食堂^{しつ}に近づいて

おいをくんくんくん

あまいような

こうばしいような

いろいろなにおいでさぐりやすい

ちなみに今日の予想^{よそう}は

みそしるとかきあげ

みそのにおいはかく実^{じつ}だ

あまからいようなこのにおいは

ちよっとまようけど

きつとかきあげだ

においでこん立をさぐるのって

わくわくしておもしろい

何だか気分は名たんてい

いよいよきゆう食の時間

今日は、なんだ

ふたを開^あけるまでどきどきする

よし このにおい

ぜったいみそしるにかきあげだ

ん あれれ あれ……

「わあ、おいしそう。」

友だちのうれしそうな声

今日のおかずは 豆^{とう}ふハンバーグ

※詩の場合、文の終わりに句点（。）を打たなくてもよい。

みそしるは当たっていたけれど……

でも 外れたときほど

当てたいと強く思う

ぼくは きつと明日も

においできゆう食のこん立をさぐっている

今日は、なんだ

（『みかわの子』第54号）

作者が詩で表したかったのは、どん

なことでしょう。そのためにどんな言

葉^{つか}を使っていますか。気づいたことを

友だちと話し合ってみましょう。

二 書くことを決めて、言葉を集めましょう。

学校や家での生活をふり返り、詩に書きたいことをさがしましょう。楽しかったことやうれしかったこと、はっとしたり、おどろいたりしたことなどを書きましょう。

	楽しかったこと	妹がしいてくれた羽毛ぶとんで、いっしょにねたこと。
	うれしかったこと	クリスマスプレゼントに自転車をもらったこと。
	はっとしたこと	キャンプ場で星空を見たこと。
	おどろいたこと	水族館で見たくらげがふわふわとういていたこと。
○	ふしぎに思ったこと	セミはなぜ朝と夕方に鳴いているのだろうと思ったこと。

書いたことの中から、とくに強く心にのこっていることに○をつけましょう。

※教科書(上) P 78・79 「言葉相だん室 人物やものの様子を表す言葉」を参考にするとよい。

書きたいことが決まったら、言葉を連想して、線でつないでいきましょう。ちがう言葉に言いかえたり、新しく思ううかんだ言葉を使ったりしてもよいですね。

○書きたいこと

なぜ鳴くの ※教科書(上) P 81

心の動きを表すために
言葉をえらびましょう。

- ・ 色や形
- ・ 動き
- ・ 音
- ・ においやさわった感じ

○言葉を集めたメモ



※教科書(上) P 154・155 「言葉の広場」を見ながら、言葉集めさせるとよい。

三 詩を書こう。

思いうかぶ言葉の中から、つたえたいことにぴったりの言葉をえらんで詩を書きましょう。

題名「

」

※教科書(上) P 83 「詩でよくもちいられる書き方のれい」を参考に、工夫を考えさせるとよい。

四 書いた詩を友だちと読み合おう。

友だちと書いた詩を交かんして読み合い、よいと思ったところをつたえ合いましょう。

題名

友だちの
名前

よいと思ったところ

題名

友だちの
名前

よいと思ったところ

道具のひみつをつたえよう



罫線増設用 (P37で使用)

○知りたいことに合った方ほうで調べ、
分かったことを整理してレポートにまとめましょう

みなさんは、身の回りのくらしの中で、ふしぎだなと思ったことや、もっとくわしく知りたいなと思ったことはありませんか。知りたいと思ったことを調べて、レポートにまとめてみましょう。

☆書くじゅんじょ

- ① 調べることを決める。
- ② 調べる方ほうを考える。
- ③ 自分の考えた方ほうで調べてメモに書く。
- ④ 調べて分かったことを整理する。
- ⑤ つたえたいことがはっきり分かるように組み立てを考える。
- ⑥ 下書きを書く。
- ⑦ せい書をする。



一 調べることを決めよう。

身の回りの道具から、調べたいものをえらびましょう。身の回りの道具を書き出し、調べるものを一つ決めて、○をつけましょう。

えん筆	けしゴム	はさみ			
-----	------	-----	--	--	--

二 調べたいと思った理由を書こう。

調べるものが決まったら、なぜ調べてみたいと思ったか、理由を書きましょう。

○題 (調べること)
・ えん筆のひみつ
○調べたいと思った理由
・ えん筆がなければ、文字や絵がかけない。
・ いつ、どのように発明されたのかを知りたい。

※学級での自由な発表の後、集まったものから選ばせてもよい。

三 調べたことを整理しよう。

知りたいことに合った方ほうをえらんで、調べましよう。分かったことをメモに書いておきましよう。

※次ページに調べる方法の例が載せてある。

調べて分かったこと
調べた本やウェブページ
調べて分かったこと
調べた本やウェブページ

※このメモは、コピーを用意しておくこと調べたことをまとめやすい。

◎調べる方ほうのれい

- ・かんさつする
調べたいものをよく見たり、さわったりして、分かったことを記入する。写真をとって書いてもよい。
- ・人に聞く
調べたいことについて、くわしく知っている人に聞く。聞きたいことを整理してから聞くとよい。
- ・本やしりようで調べる
調べたいことについて書かれた本を、図書館などでさがして読む。
- ・インターネットで調べる
知りたいことについての言葉を、けんさくワードに入力して調べる。



内よう	ポイント
題名	短い言葉で分かりやすく書きましよう。
1 調べた理由	「～ので調べてみました。」「～だから調べました。」とつなげると書きやすい。
2 調べ方	かんさつする、人に聞く、本で調べるなど、自分が調べた方ほうをくわしく書きましよう。
3 調べて分かったこと 調べて分かったことには(1)(2)(3)と番号を付ける	・文章だけでなく、図や写真、表やグラフなどを入れてくふうすると、より分かりやすいレポートになります。 ・目、耳、鼻、口、手などを使ってかんさつしたことを、数字やたとえて表すと、読む人によりよくつたわります。 ・人に聞いたことは、「～だそうです。」「～ということです。」という言葉を使って書きましよう。
4 調べた感想	自分で調べたことについて、思ったことや考えたことを書きましよう。
調べるときに使った本	本の書名は「 」をつけて書き、出版社名も書きましよう。

※五 P37・38のレポートをコピーして組み立てメモを作るとよい。
四 レポートの組み立てを考えよう。

五 レポートを書こう。

五は後ろの37〜38ページを使いましょう。

六 感想をつたえ合おう。

書いたレポートを読み合い、よいと思ったところや、自分のレポートにも生かせそうだと
思ったところをつたえ合いましょう。

友だちの 名前	題名	よいと思った ところ	自分のレポートにも 生かせそうだと 思ったところ

※内容だけでなく、組み立てや書き方にも着目させるとよい。

友だちの 名前	題名	よいと思った ところ	自分のレポートにも 生かせそうだと 思ったところ

○目標

すぐれた作品を読み味わうとともに、心に残った本を選び、感動したところや、読んで思ったり、考えたりしたこ
とを整理し、文章で表現することができる。

○関連

上「三年生の本だな」下「本から発見したことをつたえ合おう」

はっ
本から発見したことを
つたえ合おう



○読書感想文を書きましょう

- たくさん本の出会い、読書すること
で、ゆたかな気持ちになれます。
- 心にのこる本をえらび、感じたことを
大切にして、文章にまとめてみましょう。
- ☆書くじゆんじよ
- ①本をえらぶ。
 - ②感じたことや思ったことがあるところ
に、ふせんをつけ、読み返す。
 - ・感じたことや思ったことをふせん
に書くときよい。
 - ③いちばん心にのこったところをえら
び、何を中心に書くか決める。
 - ・心にのこった理由を書くときよい。
 - ④書くじゆんじよを考え、感じたこと
や思ったことを組み立てていく。

一 作品^{ひん}に学ぼう。

なにもかもうまくいっていますか？

高浜・高浜小 新美 千穂

読む前の気持ち

あらすじ

① わたしは、最初^{さいしよ}、「お話きかせてクリストフ」という本の題名を見て、どんな話を聞かせてくれるのかとわくわくしました。クリストフという少年とその家族^{そく}が、ルワンダという国からイギリスへ来て、はだの色や育^{そだ}った所^{ところ}のちがいがいからいじめられてしまう話です。しかしルワンダでの体けんをみんなに話したことで、みんながクリストフのこと

始め

① 本を読む前の気持ちと、どのような話なのかという、かんなんなあらすじから書き出しています。

自分の体験と重ねて

を分かってくれて、なかよくなることができました。クリストフは、もっとたくさんの人に自分の体けんを知ってもらいたいと思い、本にすることを決意^{けつぎ}しました。だから、わたしたちもクリストフの思いやせん^{キーワード}そうについて知ることができました。

中

② 新美さんは、クリストフに起こった出来事^{おこ}について、自分の生活と重ね^{かさ}、身近にいる外国せきの友だちとのことについて書いています。

② わたしには、たくさんの友だちがいます。その中には、お父さんがナイジェリア出身ではだの色がわたしたちとちがう子もいます。わたしたちは二年生の時、同じクラスになりました。わたしは、「いっしょに遊^{あそ}ぼう。」と声をかけました。その日からわたしたちは毎日いっしょに遊ぶようになりました。その

このように、自分の生活と本の中での出来事をくらべたり、にた出来事を書いたりすると、より自分の思ったことや考えたことをつたえることができます。

子はいつもにこにこしていて、わたしが悲しい顔をしていると、

「どうしたの。」

と声をかけてくれ、はげましてくれます。わたしは、そんなやさしいところや明るくて元気なところが大好きです。はだの色がちがうからいじめるなんて、わたしには全く分かりません。はだの色なんか気にしないで、たくさん遊んだり話したりすれば、なかよくなれるはずです。楽しいことばかりだと思います。

③ クリストフは、ルワンダでせんそうにまきこまれて、大けがをしました。弟は死んでしまいました。なぜ、せんそうをするのでしょ

うか。せんそうは、うしなうものばかりです。

③・④

本を読んで心にのこった「せんそう」をキーワードに、自分がどのように感じたのかを書いていきます。本の中の言葉を使って考えを書いているところがよいですね。

※本から引用するときは、「」で抜き出させる。

悲しい思いしかのこりません。本には、「人間のかちにちがいがないことが分かっていないから。どこの世界にも他の人より上にない」と気がすまない人がいるんだ。」と書いてありました。わたしは、そんな人は自分勝手ですごくずるい人だと思います。どんな人でも、たくさん話をしてみれば、同じ人間で、自分と何も変わらないことがわかるはずですよ。そうすれば、どんな人ともなかよくなれると信じています。

④ 今もどこの国で、せんそうがおきています。とても悲しいことです。早くせんそうが終わって、みんながなかよくくらせる国になるといいと思います。そして、今、わたしに



日づけ 月 日

題名 _____

作者 _____

一言感想 _____

日づけ 月 日

題名 _____

作者 _____

一言感想 _____

日づけ 月 日

題名 _____

作者 _____

一言感想 _____

○読んだ本を記録しよう
読んだ本の記録をつけ
ましょう。

教科書上100ページから
105ページや下66ページを
さん考にして、本をさが
して読みましょう。



日づけ 月 日

題名 _____

作者 _____

一言感想 _____

日づけ 月 日

題名 _____

作者 _____

一言感想 _____

終わり

⑤ さい後にクリストフのお母さんのせりふを本文からぬき出すことで、自分も本の中の登場人物になったつもりで、これからの世界がどのようになってほしいか書いています。自分にどんなことができるのか、これからどうしたいのかを書くことで、本を読んで強く思ったことや考えたことがよくつたわってきますね。

できることは、友だちを大切にすることです。わたしのまわりでいじめやなか間外れが起きないように、よいところをたくさん見つけて、なかよくしていけるようにしたいです。

⑤ クリストフのお母さんが

「何もかもうまくいっていますか。」

と聞く場面があります。世界中の子どもたちが、

「はい。うまくいっています。何もかもね。」

と、答えられる日が来ると思います。

(平成二十七年 度『高浜市内 読書感想文コンクール作品集』)

著者 ニキ・コーンウェル
訳者 渋谷 弘子
書名 「お話かせてクリストフ」
発行所 文研ブックランド

二 感想をメモにまとめよう。

書名	作者名	出版社名
(1) この本をえらんだわけ、この本と出会ったときのこと	(2) あらすじや本のだいたいの内よう	
・感動した場面を中心に書かせるようにしたい。		
(3) 心にのこった場面や言葉、はじめて知ったこと	(4) 自分が思ったこと、考えたこと	
・心に残った理由を書かせるとうい。		

三 組み立てメモにしてみよう。

題名	始め	感想
・本文から学んだことを短い言葉にする ・さい後に考えるとよい	◎読んだ本の名前 ◎本をえらんだ理由 ☆本のあらすじ	◎心にのこったところ ☆心にのこったところにかん係のあることが書かれているところ ◎感想

① 考えとその理由を明らかにする。

② 自分の考えを分かってもらうために
だいじだと思いう理由をえらんだり書
き足したりする。

③ 「始め」や「終わり」に自分の考え
を、「中」にその理由を書く。

クラスの楽しい思い出作りのために、
 何をするのがよいか考えてみましょう。
 考えとその理由を明らかにして、文
 章を書くときには、次のようなところ
 に気をつけて書きましょう。

○目標 考えの理由を明らかにして、「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、書くことができる

○関連 下「クラスの思い出作りのために」

四 組み立てメモをもとに、原こう用紙に書こう。

◎：大事な内よう
☆：あるとよい内よう

☆どのように生かしていくのか

◎本を読んで学んだ

中

- ◎ そう思った理由
 - ・ 同じような体けんから
 - ・ 自分だったらと想ぞう

など

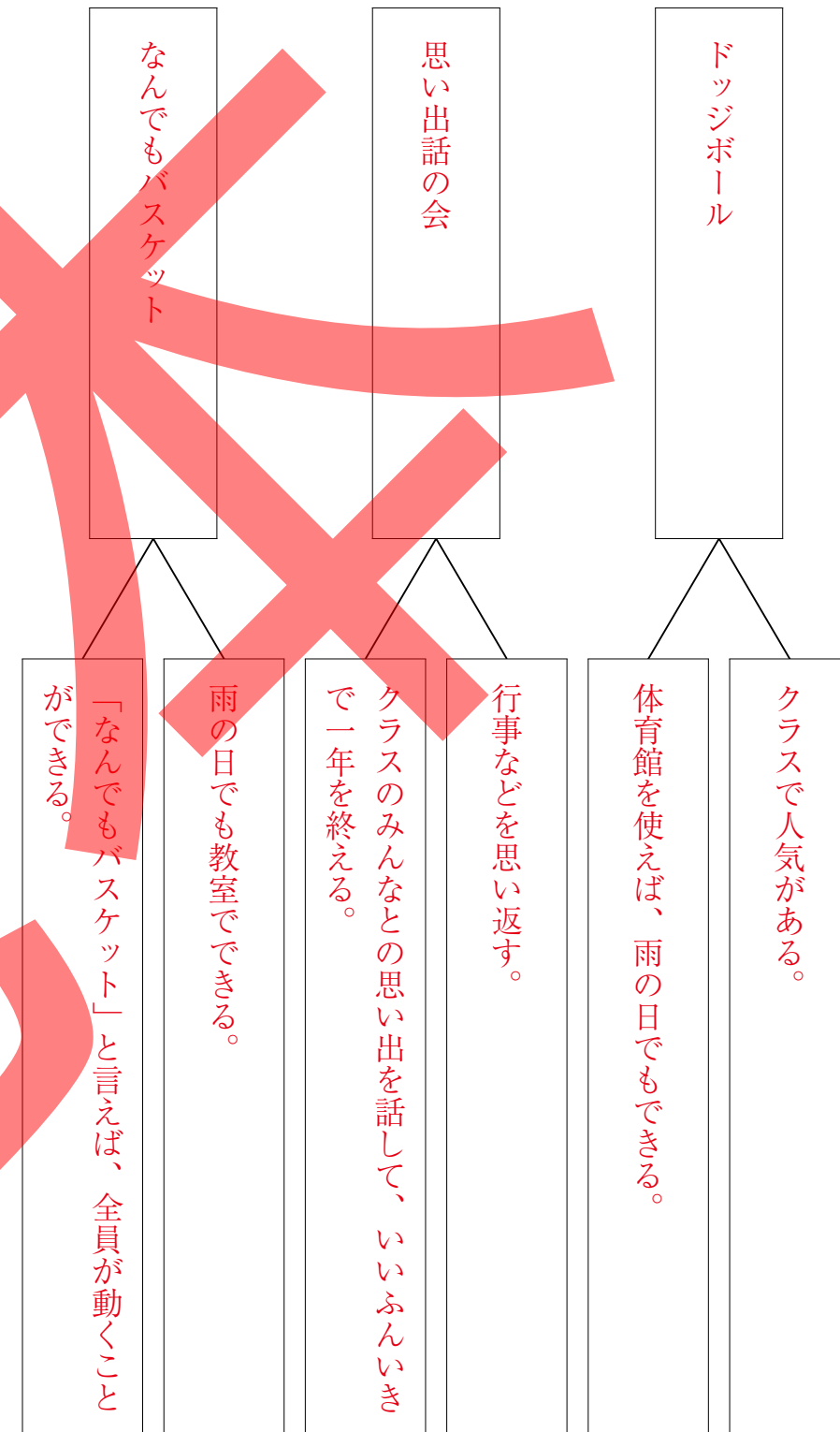
※このまともりは、書きたいことに合わせてふやしたりけずったりしましよう

一 自分の考えとその理由を書こう。

何をするか

それをえらんだ理由

クラスの思い出作りのために



二 考えを深めよう。

自分の考えを分かってもらうために、理由についてさらにくわしく書き足しましょう。

クラスの思い出作りのために

考え ○ クラスの思い出作りのために、ドッジボールを するのがよい。	
理由①	理由②
クラスで人気のある 遊び。	クラス全体がもっと なかよくなれる。

メモの書き方

- ①自分の考えとその理由を2つ書き出す。
- ②それぞれの考えの理由をさらにくわしく下の四角に書く。
- ③自分の考えを分かってもらうために、大事だと思う理由をえらんだり書き足したりする。

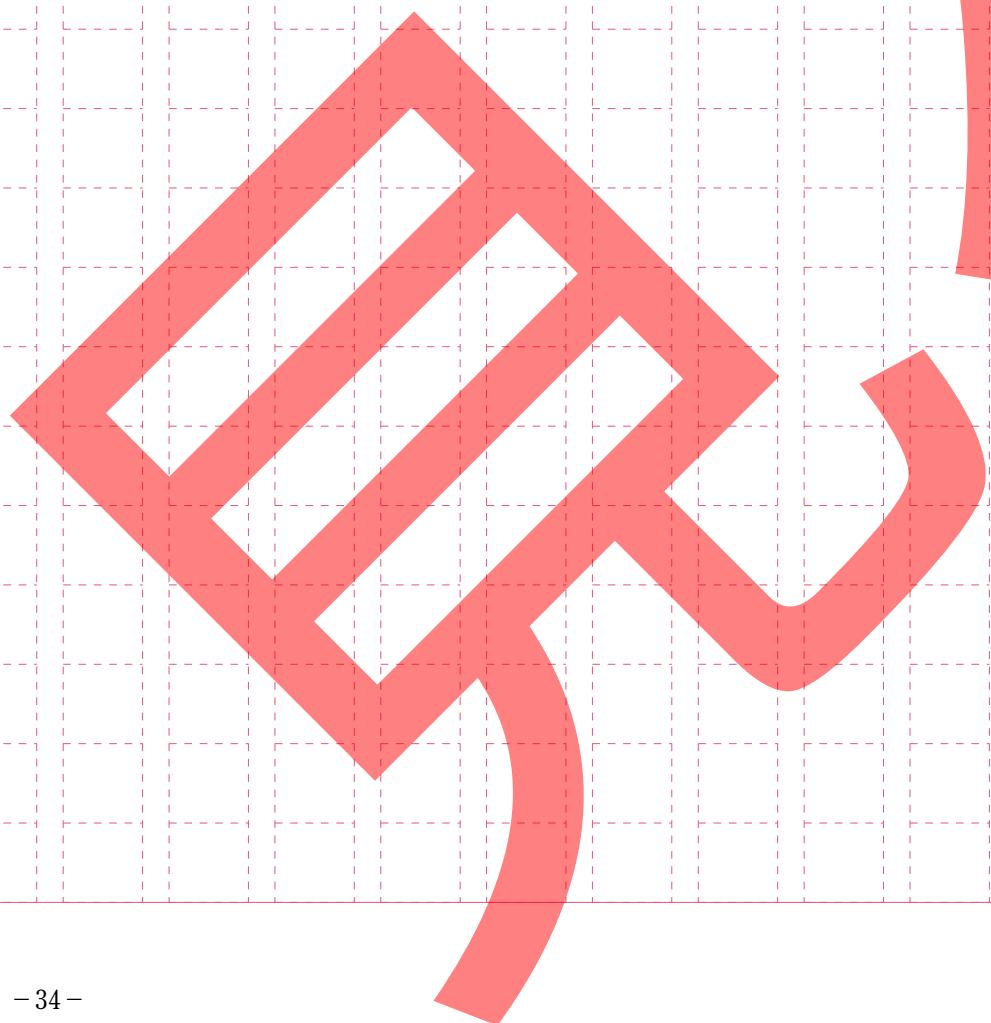
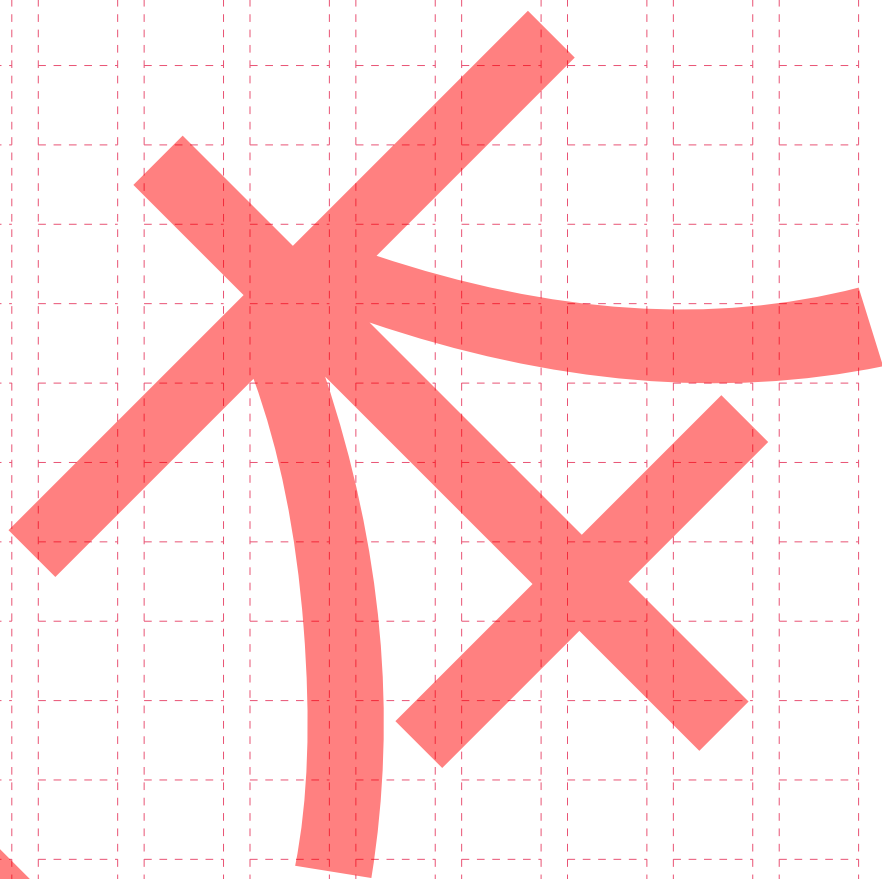
三 文章の組み立てを考えよう。

30 ページの自分の考えとその理由をどのようにじゅんじょ立てて書くか、自分の考えが読み手につたわるか考えて、組み立てメモを作りましょう。

始め	中	終わり
自分の考え	考えの理由	自分の考え
・ クラスの思い出作りはドッジボールをするのがよい。	・ クラスの中で人気がある遊びだから。 ・ クラス全体が、もっとなかよくなれるから。 ・ 全員でドッジボールをするのがよい。	

※表紙裏「原稿用紙の使い方・書き直し方」を使い、下書きを見直し、文章を完成させるとよい。
※伝える順序を意識しながら書くように指導する。

四 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。 名前（ ）

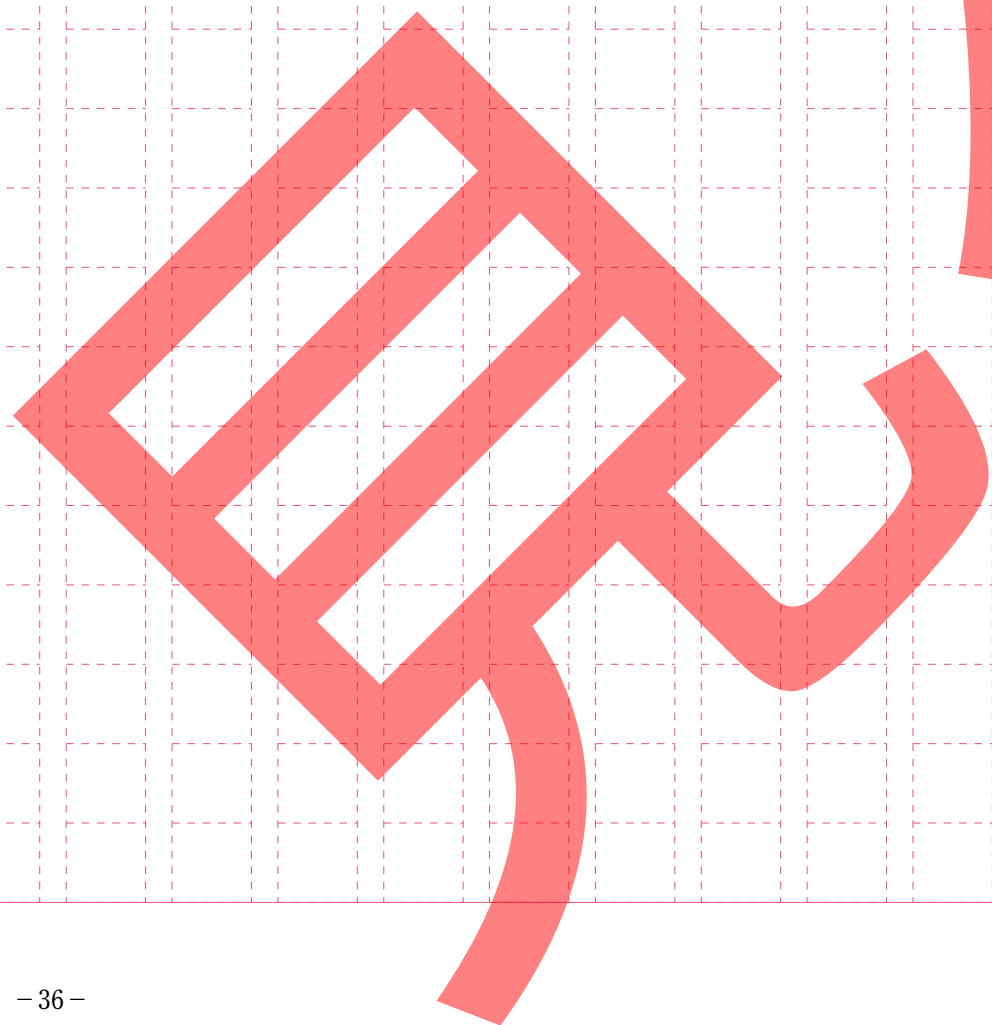
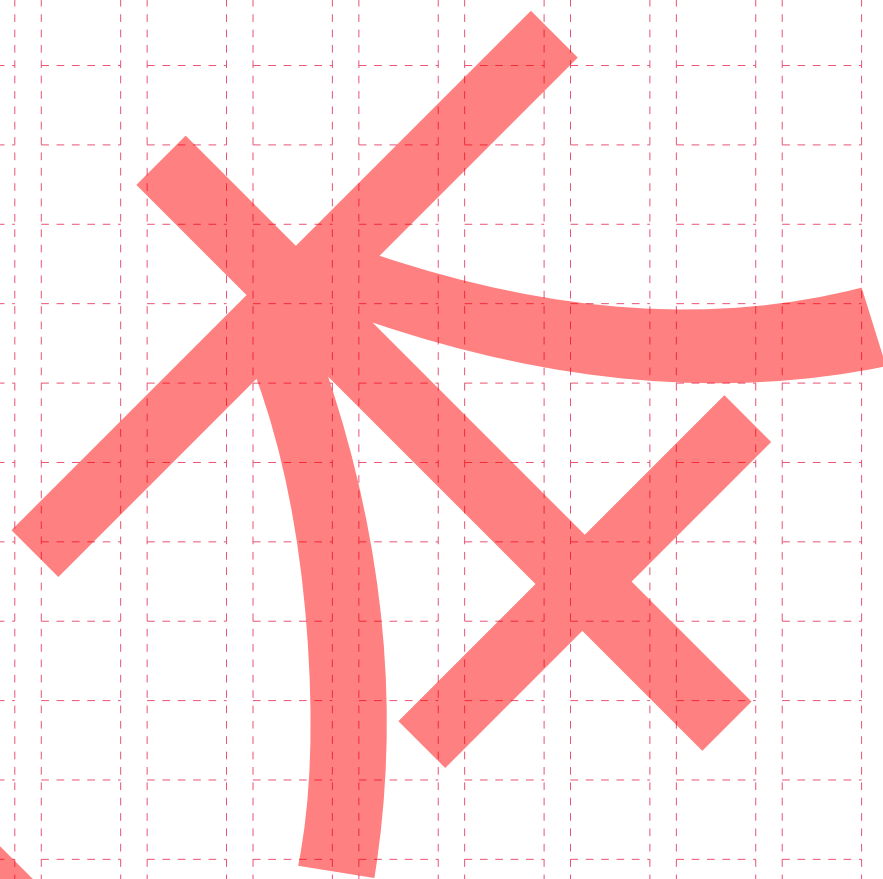


※段落を意識しながら、書くように指導する。
※教科書（下）P 98の「理由を表すときに使う言葉」を使い、考えや理由を分かりやすく書くようにさせる。

三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

わたしの顔

三 年 組



※段落を意識しながら、書くように指導する。

「わたし」の説明文を書こう

——中心を明らかにして書きましよう——

《教科書との関連》

上「わたし」の説明文を書こう」

二 指導事項

- 1 相手に分かりやすく伝えるために、中心を明らかにして説明文を書くという学習課題を確かめ、自分について考えたことを書き出させる。
- 2 自分のどこを友だちに知ってほしいのか、伝えたいことの中心を決めて、組み立てメモを書かせる。
- 3 下書きを書かせ推敲し、清書させる。

一 学習目標

- 1 伝えたいことの中心を明らかにして、「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、「わたし」の説明文」を書くことができる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 「伝えたいことの中心を明らかにして書く」という学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。	① 自分のことを友だちにもっとよく知ってもらうために、伝えたいことの中心を明らかにして「わたしの説明文」を書くという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。	①○教科書の例を読み、出来上りのイメージをもち、どのように学習を進めていくと、「わたし」の説明文」を書くことができるか考えさせる。
② 伝えたいことを書き出す。	② 自分自身を見つめ直し、自分について考えたことを書き出す。	②○好きなことや得意なこと、苦手なことや直したいと思っていることなどを想起させる。
③ 中心を決めて、文章の組み立てを考える。	③① 書き出したことの全体を見渡し、自分のどこを友だちに知ってほしいのか、伝えたいことの中心を決める。 ② 文章を「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、組み立てメモを作る。	③○伝えたいことの中心を選び、それに関連の深い出来事も書き出したことから選ばれる。
④ 文章を書く。	④① 組み立てメモを元に、下書きを書く。 ② 下書きを見直す。 ③ 清書する。	④○表紙裏の「原稿用紙の使い方・書き直し方」を見て、下書きを推敲させる。
⑤ 文章を読み合う。	⑤ 文章を読み合い、面白いと思ったことや気付いたことなどを伝え合う。	⑤○友だちと「説明文」を読み合い、互いの良さを認め、伝え合わせる。 ○教室掲示、文集を作る、回し読みをするなどして、全員に読む機会を与えるように配慮する。
⑥ 学習を振り返る。	⑥ 学習の振り返りをする。	⑥○この学習で身に付けた力は何か、どんなことに気を付けると「わたし」の説明文」を書くことができたか、身に付けた力をどう生かすかという視点で振り返らせるとよい。

心が動いたことを詩で表そう

——心の動きがつたわるように、言葉を考えて詩を書きましよう——

《教科書との関連》

上「心が動いたことを詩で表そう」

上「詩を読もう」

一 学習目標

- 1 心が動いたときのことから想像を広げ、言葉を集めたり選んだりして、詩を書くことができる。

二 指導事項

- 1 心を動かされたことを思い出させる。
- 2 気持ちが動いたことや発見したことなどから、書きたいことを見つけ、伝えたいことに合う言葉を選んで詩を書かせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 作品「今日は、なんだ」を学習する。	① 参考作品「今日は、なんだ」を読み味わう。 ・作者が表しかったことを考える。 ・どんな言葉を使っているかを話し合う。	①○参考作品の良い点を挙げさせる。 ○心の動きを伝えるために効果的な言葉を選び、表現する楽しさを知る。
② 感じたことや発見したことを書き、詩の題材を考える。	②① 生活をふり返って題材を集め、特に強く心に残っているものを考える。 ② 色や形、動き、音、においやさわった感じなど、そのときの様子をくわしく思い出させる。	②○心が動いたことなどを想起させる。
③ 詩を書く。	③ 伝えたいことを短い言葉で詩に書く。	③○感じたことにふさわしい言葉を考えて、短い言葉で書かせる。
④ 詩を味わう。	④ 友達の詩を読み合い、よいと思ったところを伝え合う。 ・心の動きがよくわかる言葉はどこかを考える。	④○友達の詩を読み、お互いに認め合う気持ちをもたせる。

道具のひみつをつたえよう

— 知りたいことに合った方ほうで調べ、分かったことを整理してレポートにまとめよう —

一 学習目標

- 1 知りたいことに応じた調べ方を考えて調べ、書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えることができる。

二 指導事項

- 1 興味のあることを調べて、レポートにまとめるという学習課題を確かめ、調べることを決めさせる。
2 本やインターネットで調べたり、インタビューしたりして、必要な材料を集めさせる。
3 調べた事柄の中から必要に応じて情報を取捨選択し、要旨を明確にしてレポートに書かせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 知りたいことを調べてレポートにまとめるという学習課題を確かめ、 学習の見通し を立てる。	①(1) 自分が知りたいと思ったことを調べて、レポートにまとめるという学習課題を確かめ、 学習の見通し を立てる。 (2) 学習計画を立てる。 ・自分が調べたい身の回りの 道具を決める 。 ・調べる計画を立て、「調べることメモ」を書く。	① 本単元では、自分の興味や関心のある道具について調べ、紹介することを知らせる。 ワークシートを利用した学習計画表を作成するのよい。

② 調べ学習をする。	② 調べて分かったことをメモに書き込む。	② 調べる方法を明記させる。 (本の題名やインタビューをした相手など) ○ いろいろな調べ方があることを確認する。 ○ 必要に応じてインタビューの練習をさせる。
③ 構想を練る。	③ 集めた資料から紹介したい部分を選び、組み立てを考える。 ・テーマや動機、調べた方法 ・分かったこと ・調べた感想 ・調べるときに使った本	③ 調べたことがたくさんあれば、どの内容を入れるか取捨選択をさせる。
④ 調べたことをもとにレポートを書く。	④ レポートを書く。 ・レイアウト、見出し、絵や写真の添付	④ 文末表現を意識させる。 ○ 接続語や順序を表す言葉を意識させる。 ○ 必要に応じて、絵や写真を添付させるとよい。
⑤ 感想を伝え合う。	⑤ 作品をお互いに読み合い、感想を書いて伝え合う。	⑤ 〇よいと思ったところや、見習いたいところを書かせる。
⑥ 学習を振り返る。	⑥ 学習の振り返りをする。	○ 内容だけでなく、組み立てや表記にも着目させる。

本から発見したことをつたえ合おう

《教科書との関連》
上「三年生の本だな」
下「本から発見したことをつたえ合おう」

一 学習目標

1 すぐれた作品を読み味わうとともに、心に残った本を選び、感動したところや、読んで思ったり、考えたりしたことを整理し、文章で表現することができる。

二 指導事項

- 1 参考作品「なにもかもうまくいっていますか？」を読ませ、書き出しの工夫、感想や考えがどのように書かれているか考えさせる。
- 2 自分が読んだ本の中から心に残った本を選び、心に残ったところや、自分の感じたこと、考えたことなどをまとめさせる。
- 3 まとめたことや書き方のヒントを生かして、感想文に表現させる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 作品「なにもかもうまくいっていますか？」を読み、学習計画を立てる。	①(1) 参考作品「なにもかもうまくいっていますか？」を読み、感想を話し合う。 (2) 作品の組み立ての工夫について話し合う。 ・ 始め ・ 中 ・ 終わり	① 参考作品を読むことによって、感想文を書こうとする意欲づけをする。 ○ 書き出しのよさについて気づかせる。 ○ 千穂さんの心の動きが、会話を入れたり、自分の友達のことを思い返して書いたりすることによって、読む人によく伝わってくることに気づかせる。

② 心に残った本を選び、どんな書き表し方をするか構想を練る。	②(1) 心に残った本を選ぶ。 (2) 心に残ったところや、自分の思いをまとめる。 (3) 組み立てメモの下の例を参考に、感想文の書き方を考える。	② 心に残った本をあらかじめ、用意しておく。 ○ P 24 の読書記録を活用するとよい。 ○ 心に残ったところや、感想・思い・考えなどを自由にまとめさせる。 ○ 組み立てメモの下の例を読むことによって、始め・中・終わりの内容を考えさせる。
③ 記述をする。	③ 書き出しのポイントを工夫しながら、記述をする。	(設問二) ③ 書き出しについて注意させる。 ○ 段落を意識しながら書くように指導する。
④ 書いたものを推敲する。	④ 自分の感想文の推敲をする。	(設問三) ④ 加筆・修正をさせる。
⑤ 清書をする。	⑤ 誤字・脱字に気をつけて清書をする。	(設問四) ⑤ 推敲した原稿をもとに清書させる。
⑥ 友達の作品を読み合う。	⑥ 友達の作品を通して、さまざまな感じ方・考え方を学び合う。	⑥ 友達の感想文を読み、お互いに認め合う気持ちをもたせたい。 ○ 文集を作る、回し読みをするなどして、全員に読む機会を与えるように配慮する。
⑦ 学習を振り返る。	⑦ 学習の振り返りをする。	

クラスの思い出作りのために

— 考えの理由を明らかにして書きましょう —

一 学習目標

- 1 考えの理由を明らかにして、「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、書くことができる。

二 指導事項

- 1 自分の考えを伝えるために、考えの理由を明らかにして書くという学習課題を確かめ、自分の考えと理由を書き出させる。
2 順序立てて文章の組み立てを書かせる。
3 組み立てをもとに、自分の考えとその理由を、順序立てて書かせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 「考えの理由を明らかにして書く」という学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。	① クラスの思い出作りのために、何をするのがよいのか考えて、文章の組み立てを考えて書くという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。	①○本単元では、自分の考えを読み手に分かりやすく伝えるために、考えの理由を明らかにして書くことができるようにするという学習課題を確認する。 ○どのように学習を進めていくと学習課題を達成することができるか、学習の見通しを持たせる。 ○教科書下P 99の言葉の力をおさえ、本単元でできるようにしたいことを確認する。
② 自分の考えをまとめる。	② 自分の考えとその理由を書き出す。 (設問一)	③① 自分の考えを伝えるときには、どうしてそう考えるのかという理由も一緒に話させる。 (2) 自分の考えをさらに書き足して、読み手に分かりやすく伝えるために理由をくわしく書かせる。 (3) 理由がいくつかあるときは、大事だと思われるのを選ばせる。

③ 考えを深める。	③① 考えたことについて、ペアやグループで話し合う。 (2) 話し合って気付いたことも取り入れながら、自分の考えやその理由を整理して書く。 (設問二)	③① 自分の考えを伝えるときには、どうしてそう考えるのかという理由も一緒に話させる。
④ 文章の組み立てを考える。	④ 考えとその理由を順序立てて、文章の組み立てを考える。 (設問三)	④ 「始め」や「終わり」に考えを、「中」に考えの理由を書かせる。
⑤ 文章を書く。	⑤① 組み立てを元に文章を書く。 (2) 推敲する。 (設問四)	⑤ 「なぜなら」「……から」など、理由を表す言葉を用いて書かせる。
⑥ 文章を読み合う。	⑥ 文章を読み合い、考えや理由が分かりやすく書けているところなどを伝え合う。	⑥ 教科書下P 99の言葉の力を確認し、友達の書いた文章を評価する視点を確認させる。
⑦ 学習を振り返る。	⑦ 学習の振り返りをする。	⑦ 本単元を通して、身に付けることができる言葉の力は、どのような学習をすると身に付くかを考えさせ、振り返りをさせる。ここで身に付いた力を生かすことができる場面を考えさせることもよい。